

2017.10.27

No. 175

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ



町のために議会ができること ②

一般質問 ここが聞きたい

追跡 あの要望どうなった

議員記者が行く！安協へ取材！

10

17

22

南甲府交通安全協会昭和支部

町の交通安全のために

交通安全街頭指導の様子

・表題(しょうわ)については「常永小学校
6年2組 韓七海さん」の直筆です。

会ができること

富士川町議会視察

日時：平成29年7月28日(金)

場所：富士川町役場

内容：タブレット活用による
議会運営について



町の
ために
ことを
した!

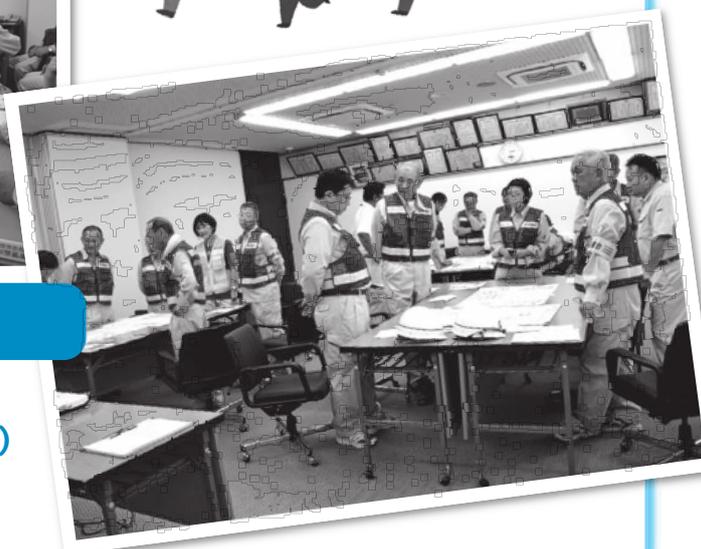


昭和町議会防災訓練

日時：平成29年8月27日(日)

場所：昭和町役場委員会室(参集訓練も実施)

内容：大規模災害を想定した参集訓練及び、
避難所運営机上訓練



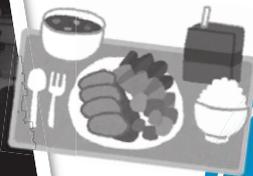
町のために 議

昭和町学校給食センター視察

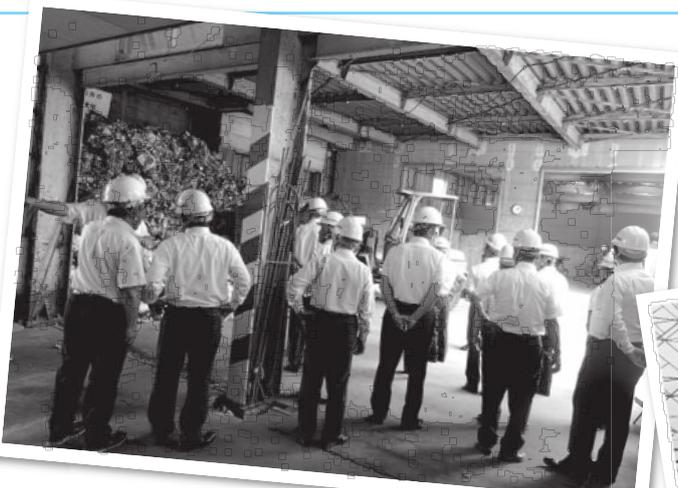
日時：平成29年7月7日(金)

場所：昭和町学校給食センター

内容：今後の施設整備についてと
給食作成過程の視察と試食



更なる
発展の
様々な
学びま



中巨摩広域清掃センター視察

日時：平成29年8月22日(火)

場所：中巨摩広域清掃センター

内容：今後のごみ処理施設整備についてと
施設内視察



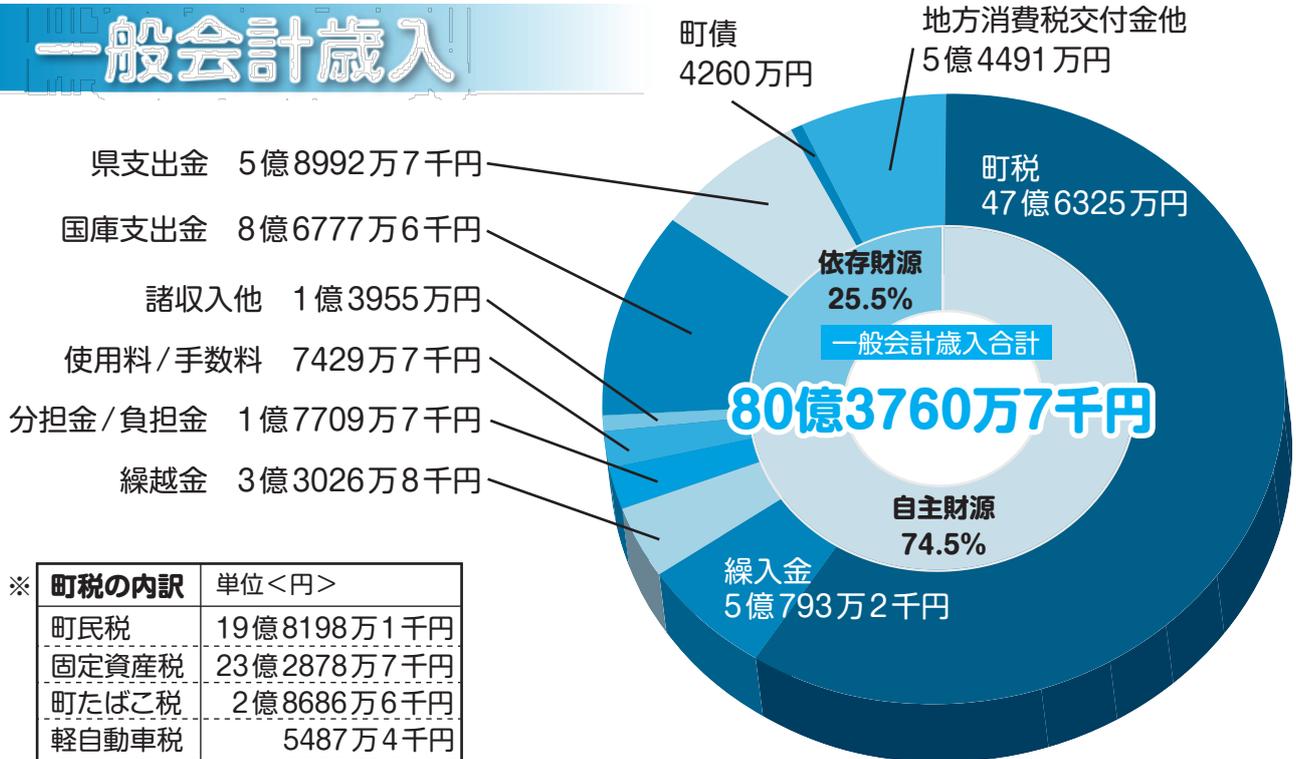
健全な財政運営と認定

審査の意見

平成28年度昭和町一般会計、特別会計予算に計上された各事務事業は
総じて順調な成果を収めているものと認めた。

(代表監査委員 石原政彦)
監査委員 林 和仁

一般会計歳入



町民税	19億8198万1千円
固定資産税	23億2878万7千円
町たばこ税	2億8686万6千円
軽自動車税	5487万4千円

平成28年度特別会計決算

※数値は端数調整してあります。

会計	歳入総額	歳出総額	結果
国民健康保険特別会計	22億7738万4429円	21億5904万421円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	1億4550万4422円	1億4424万5350円	
介護保険特別会計	9億5293万889円	8億7642万4244円	
介護サービス特別会計	1821万8787円	1604万3415円	
下水道事業特別会計	10億5090万2235円	10億3094万6837円	
湧水対策事業特別会計	769万2075円	597万7961円	
合計	124億9023万9956円	118億2828万1780円	

平成28年度健全化判断比率等の状況

平成28年度決算に基づく健全化判断比率は、基準を下回っているため、“健全である”といえます。

《健全化判断比率》

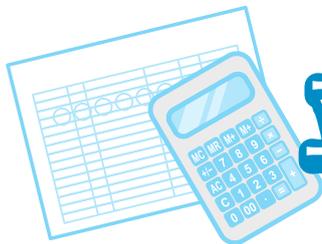
区分	実質公債費比率	将来負担比率
比率	9.1	20.8
早期健全化基準	25.00	350.00

《財政力指数》(単年)

H26	H27	H28
1.1	1.13	1.17

※地方自治体の財政力を示す指数。3年平均で1未満だと交付団体になる。

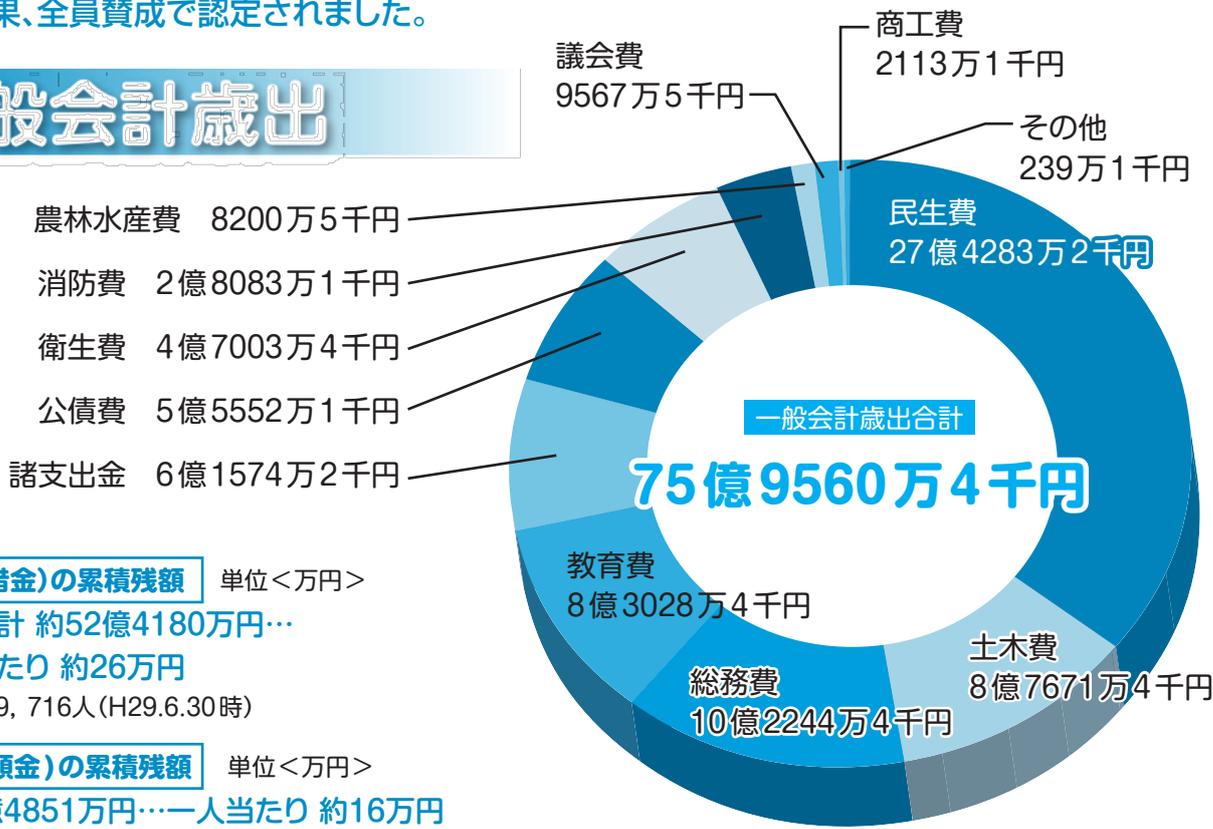
実質公債費比率は26年度と比べ、0.5%減少しました。将来負担比率は26年度より14.8%減少し、実質的な標準財政規模に対する負担比率は低くなりました。実質公債費比率・将来負担比率ともに比率が小さいほど財政状況は良いと判断します。



平成28年度決算

9月定例会の中において決算特別委員会が開催されました。第3回定例会で決算特別委員会に付託された、一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、下水道事業、湧水対策事業特別会計に対し、監査委員の意見書及び各課長から説明を受けました。いずれも慎重審査の結果、全員賛成で認定されました。

一般会計歳出



町債(借金)の累積残額 単位<万円>
 一般会計 約52億4180万円…
 一人当たり 約26万円
 ※人口19,716人(H29.6.30時)

基金(預金)の累積残額 単位<万円>
 約33億4851万円…一人当たり 約16万円

一般会計

～主な使いみち～



衛生費

- 一般廃棄物収集運搬処理 6481万円
- 予防接種委託 5338万円
- 人間ドックほか健康診査委託 5058万円



土木費

- 道路改良工事 8842万円
- 町道植樹帯・緑地帯管理 1581万円
- 橋梁修繕工事 1304万円



総務費

- 総合行政情報システム借上 4471万円
- 財務会計システム更新切替業務 132万円
- 地域力活性化交付金 2587万円



消防費ほか

- 甲府地区広域行政事務組合負担金 2億4353万円
- 公園樹木植栽管理 2813万円
- 町商工会育成事業補助金 1137万円



民生費

- 児童支援費 2億3828万5千円
- 高齢者福祉費 1238万3千円
- 重度心身障害者医療費 5295万円



公債費(借金返済)
5億5571万円



教育費

- 小中学校費 2億6779万円
- 学校給食費 1億9387万円
- 温水プール運営費 7262万円



諸支出金
・基金積立金 6億1574万円

※単位:千円以下切捨て

9月
定例会で

決まったこと

平成29年9月定例会は、9月6日から21日まで16日間の会期で開きました。町長提出の町道認定案件1案件、平成29年度一般会計および特別会計補正予算6案件のほか、決算関係の認定7案件その他3案件を含めた計17案件を審議しました。一般質問では7人の議員が12件について活発な質問・意見を展開しました。

堀門太	依田茂巳	金丸富一	葉袋義久	石原一好	中澤康夫	石原高明	林和仁	鷹野一雄	河住保茂	樋口敏夫	※塚原将司	田中博愛	遠藤辰男	三井猛	河田あけみ	審議結果
同意第19号 昭和町教育委員の選任について																全員賛成 で同意
議案第29号 町道路線の認定の件																全員賛成 で可決
議提第2号 平成29年度議会議員県外視察研修の実施について																全員賛成 で可決
請願第2号① 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担金制度拡充を図るための請願																全員賛成 で採択
意見書第2号② 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担金制度拡充を図るための意見書																全員賛成 で可決
認定第1号～認定第7号 平成28年度昭和町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定を求める件																全員賛成 で認定
議案第30号～議案第35号 昭和町一般会計及び特別会計補正予算																全員賛成 で可決

●詳細は11月末更新予定のHPの会議録を御覧下さい。 ※塚原 将司議員は議長のため、採決には加わっていません。

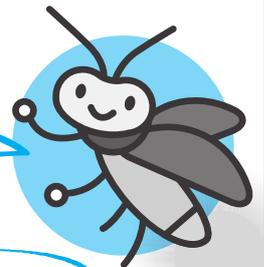
ほたるんに聞いてみよう!



ねえねえほたるん、【議会で決まったこと】の中の請願と意見書ってどういうもの?

請願①と意見書②の違い

- ①「請願」とは町民の方や、各団体の方などから昭和町議会に向けて、その議会の議員の紹介をもらって、お願いすることだよ。
- ②「意見書」とは昭和町議会から国会又は関係省庁に向けて意見書を出しましょう。というものなんだ。



みんなの意見が国とかに言えるようになるってすごいことだね。それができる「議会」ってとても大切なところなんだ。

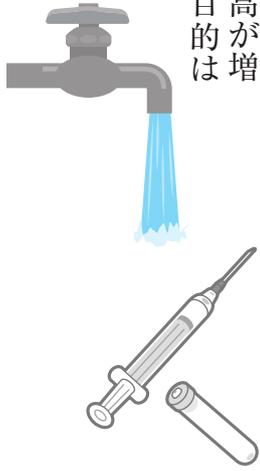
決算審査委員会質疑

公害対策 事業について

依田議員 公害対策事業の中で、昭和町は都市化が進んで、騒音・振動等の公害関係が増加している。昭和町の環境による苦情も6件発生している。公害等を事前に減少させる取り組みは行っているのか。

甲府水道局との 協力金について

石原(高)議員 甲府市の水道局より、協力金を毎年受け取っていて残高が増加しているが、使用目的はあるのか。



副町長 甲府市との協力金は、昭和町が毎年500万円を受け取っている。

昭和町の所有する井戸もあり、今後老朽化したとくに井戸の掘り直しをすることも考えられる。井戸を1本掘る予算は2000万円程かかる為、目的基金の積み立てをしている。

予防接種について

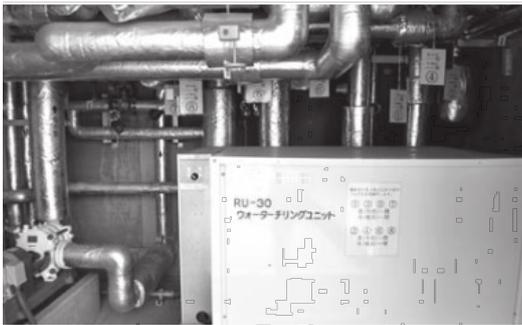
中澤議員 B型肝炎も定期予防接種になったが、他に任意接種のものはあるか。

いきいき健康課長 おたふく風邪の予防接種などが任意接種となっている。

学校施設管理 保守委託について

中澤議員 学校施設管理保守委託の関係で、中学校より小学校の費用が高い理由は。

学校教育課長 小学校はエコスクール仕様となっていて、様々な機器がある関係で高くなっている。



小学校のエコスクール仕様設備

備品購入について

河住議員 備品購入費でグラウンドゴルフセットを購入。どの様な貸し出しをして数量はどのくらいか。

生涯学習課長 一般貸し出しを行っている。数量は、スティック6本入り20セット・ボールが120個。



グラウンドゴルフセット

ストレス チェックについて

依田議員 今年度からの事業でストレスチェックを行っているが、全職員を対象に行ったのか。

総務課長 対象とした職員は正職員と臨時・嘱託職員及び、小中学校の教員で行った。



第3回定例会(9月)委員会質疑

水源対策 特別委員会

当局より地下水採取の適正化に関する条例に基づき、井戸設置申請(築地新居)、井戸設置届出(紙漣阿原)の申請があった。

旧井戸の今後の対応は

中澤議員 キトーが新たに井戸を設置するが、旧井戸の取り扱いは。

副町長 旧井戸の廃止に伴う取り扱いについて、キトーと協議していく。

田中議員 工業団地の取水に関連して近隣の井戸が枯れた経過がある。井戸設置者の指導はどうなっているか。

環境経済課長 地下水の採取計画を遵守するよう指導の徹底を図る。

地方分権対策特別委員会

当局より今後の施設整備について説明があり、質疑応答を行った。

給食センターについて

学校教育課長 児童生徒数等の増加や、設備の老朽化も進み、給食調理施設を整備する必要がある。

田中議員 現在の場所に対応しきれるか。

副町長 費用がかかるため、増築した上で対応できるようにする。



給食センター

押原中学校増築について

学校教育課長 生徒数の増加に伴い、教室が不足し、増築工事の必要がある。

依田議員 普通教室はそのままで、理科室、音楽室等を1ヶ所にまとめる改築で対応しては。

学校教育課長 教室の水道の配管等があると設置や撤去に費用が掛かる

ので学校と協議して、将来的なことを考えて普通教室増築で対応という判断に至った。

(仮)子育て支援センターについて

福祉課長 山梨中央銀行旧昭和支店を再活用乳幼児と家族が気軽に来ることができ、子育て支援拠点となる施設として平成31年4月の開館を目指す。

三井議員 土地、建物は買うのか、借りるのか。

副町長 土地開発基金を活用し購入する方向で考えていく。

石原(二)議員 銀行の払い下げは例があるのか。

副町長 他市町村で払い下げの例があるのでそれ

を参考にしながら町もすすめていく。

(仮)生涯学習館について

生涯学習課長 図書館を併設した会議室や、コソートなどできる貸しホールを検討したい。

三井議員 具体的な建設場所は。

副町長 建設委員会を設置してその中で進めていく。



教育厚生常任委員会

学力テストについて

樋口議員 学力テストの結果公表があり小学校6年生は全科目で低下しているが本町の状況は。

教育長 8月21日に文部科学省から各学校へ通知。本町の3小学校は4項目全てにおいて平均を上回っている。

教育委員会の自己評価について

河田議員 教育委員会の自己点検・評価報告書の公表の仕方は。

学校教育課長 ホームページ並びに教育委員会事務所にて閲覧可能。

アスベスト検査について

河住議員 常永児童館

のアスベスト検査をするようだが、どこ箇所か。

福祉課長 円形の部屋の梁の部分を検査する。

中澤議員 総合会館のアスベスト検査は。

福祉課長 ボイラー室とステージ上の梁の部分に関して検査をする。

社会福祉協議会の今後について

河住議員 社会福祉協議会の会長について今後はどうなるか。

副町長 町長は会長職を降りる。12月頃までには新会長が決まる見込み。

産業土木 常任委員会

町道認定について

鷹野議員 町道認定はどのような基準で行っているのか。

建設課長 農道以外の道路について幅員等の基準はない。交付税の関係や、維持管理の観点から認定を進めている。

依田議員 緑地帯の伐採委託について、根元から伐採する方法をとるのか。

環境経済課長 現時点では、伐採後の管理も視野に入れて根元から伐採する方向で進めている。

遠藤議員 常永団地の入居状況はどうか。

建設課長 現在、空きがでそうなので募集を行っている。

総務常任委員会

統計調査について

石原(高)議員 統計調査はどのような調査を行うのか。

企画財政課長 今年度は、国民の就業構造を把握するための就業構造基本調査と我が国の工業実態を把握するための工業統計調査を行う。

障がい者用トイレについて

石原(一)議員 役場の障がい者用トイレの水道が手動回転式になっており、手を洗うのに不便な時もあるようなので、自動感知式にできないか。

総務課長 役場の障がい者用トイレは旧式なもので、改修したいと考えている。

改修については予算の



庁舎内障がい者用トイレ



関係上、レバー式の蛇口を考えている。

第3回定例会(9月)委員会質疑

施策を問う

ここが聞きたい

一般質問の内容は議会事務局で閲覧できます。

一般質問

Q 介護と在宅医療への対策を

A 「生活支援コーディネーター」をおき、地域の中の支え合い機能を強化する



石原 高明 議員

石原(高)

少子高齢化が進行する中、自立した生活が困難になった場合の適切な対応を提案できる体制のさらなる充実が求められる。それには保健師や栄養士、社会福祉士などの増員が不可欠であり、長期的な視点で計画的に採用していく必要がある。町では地域包括ケアシステムの構築について、現在の運用状況をどのように評価しているのか。

また高齢化の進行や地域の実情の中で、新たに取組んでいこうと計画しているサービスはあるのか。さらに自助、共助、公助によるまちづくりが必要な高齢化社会において、公助としての専門職の増員について、町当局が必要と考える職種と今後の採用計画についての考えは。

町長

昭和町では平成24年度に役場庁内に「地域包括ケア推進研究会」を起ち上げ、住民と課題を共有し話し合う「地域のこれからを考える会」を町内3地区でスタートした。また認知症サポーターは延べ1500人以上が養成され、地域の中で互助の一役を担って

れている。

さらに上河東区と紙漣阿原区の2地区ではすべてを住民だけで取り組む「いきいき百歳体操」という全く新しい介護予防活動が行われており、地域包括ケアシステムの構築に向けての取組みは前進していると考えている。

今後は「生活支援コーディネーター」を配置し、地域の中の支え合い機能を強化するとともに、庁内の関係部署が効率的、効果的に動けるように体制の検討も進めていく。

職員数は「昭和町定数条例」により定められているため、必要に応じて増員を検討していきたい。

再質問

専門職員のさらなる確保が必要と思われる。町職員定数条例と町定員適正化計画の整合性について、また新たに作成する定員適正化計画について考えをお聞きしたい。

総務課長

職員数は平成29年4月時点での計画値の109人に対して、107人になっている。

平成28年3月の定年退職者のうち2人が再任用を希望しなかったためである。

新たな定員適正化計画の策定については、町の機構改革、国が検討している公務員の定年延長等を踏まえ、組織力を最大限に発揮できるように人員を必要部署に配置し、質の高いサービスを提供できるように進めていきたい。



庁舎のようす



自治会運営をサポートする拠点の設置を



自治会を支える機能を有する施設を開設する



よ だ し げ み
依田 茂巳 議員

実態調査については区長会の協力が得られるよう検討していきたい。
また支援内容については十分な検討が必要だが、自治会を支援していくための機能を有する施設を開設し、自治会業務の支援のほか、高齢化への対応もあわせて行っていきたい。

町長

住民自治を担い、行政との協働型まちづくり体制の確立を進める組織として重要な自治会の運営をよりスムーズにするために、自治会の実態調査の実施、また自治会役員の負担軽減、自治会間の情報交流の拠点として「(仮称)大人の支援センター」を設けてはどうか。

依田

再質問

来年度から先行的に、事務的なことに熟知している方々に自治会の事務仕事をサポートいただくなど、ソフト面から取り組んではどうか。

企画財政課長

各区長にどんな支援が必要か調査への協力をいただき、総務課とも協議しながら、職員の配置など順次検討していきたい。

Q 押原公園の防災機能の見える化を

A 避難所運営訓練などの研修会を引き続き実施していく

依田

押原公園に整備されている防災機能について、見える化を進めてほしい。
また公園内にあるテントや、かまどベンチなどの防災機能を使った訓練を、申込制などで日常的に体験する機会を設けてはどうか。

町長

押原公園防災機能の見える化については、例年、自主防

災組織の役員や関係団体を対象に備蓄している資機材の使用方法的説明、避難所運営訓練などの研修会を実施していき、引き続き行っていく。
資機材の展示により公助としての備えを理解していただくことも大切だが、自助として、周知にも努めていきたい。

再質問

防災倉庫の壁に備蓄品のイラストなどを描くことで防災意識の向上が図られるのではないか。

企画財政課長

防災倉庫へのイラストは広報案の一つとして参考にする。



防災倉庫

Q 高齢運転者の安全運転講習の実施を

A どんなサポートが可能か研究し、安全対策に取り組む

依田

運転可能な高齢者の方々に、自動車教習所と連携し、1年に1回安全運転講習を受けようシステムを設けてはどうか。

町長

講習については県や県警などとも連携を図りながら高齢者の交通安全対策に取り組みしていきたい。

再質問

富士河口湖町が導入しているシェアドライバー支援事業は実施可能だと思いがどうか。

企画財政課長

提案の事業も参考にしながら調査、研究して、高齢者の交通安全対策を検討していきたい。

Q 農地転用規制緩和による雇用創出について、どう進めていくのか

A 国、県の動向などを注視し、方向性を決めていく



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

田中

政府は農地法について、工場や倉庫に限って農地転用できるといふ業種限定をなくし、地域振興に役立つ企業の進出を受け入れ雇用の創出をめざす目的で規制を緩和する政令改正を閣議決定した。

政府が雇用創出に向けた規制緩和を施行することにより、甲府都市計画区域の中心的位置にある昭和町としても産業の振興を進め、雇用創出を生み出すことができるならば、将来に向けて

ゆるぎない発展につながると確信する。政府の閣議決定を踏まえて、農地転用規制緩和による雇用創出について、町はどのように進めていこうと考えているのか。

町長

現在、国は基本方針を策定中で、県では「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」に基づいて基本計画を策定し、県内27市町村と連名で国へ同意を求める協議書を提出している。

今後、国、県の動向を注視し、県内市町村の状況を見極めた中で昭和町として取るべき方向性を決めていきたい。

再質問

山梨県では基本計画を策定し、県内27市町村と連名で国へ同意を求める協議書を提出したということだが、議会ではその内容について説明を受けていない。町はどこで説明したのか。

環境経済課長

県から市町村が説明を受けたのが協議書を提出する数日前で、すぐに申請書の提出が必要だったため、議員、町民のみなさんに説明する機会がなかった。国の同意を得られてから計画が公表される流れになっている。



昭和町にある農地

Q

町独自の「生活記録表」の導入は

A

今すぐの作成は考えていない

たかの かずお
鷹野 一雄 議員

鷹野

児童の生活改善のために「生活記録表」を取り入れている学校が増えている。児童自身が1日を振り返り、どう過ごしたかを「見える化」する記録だ。

自分で書き込むことで、自分の生活は自分でつくることのできると知ってもらうことが狙いで、学力向上や親子のコミュニケーションの増加にもつながっているという。

昭和町でも小学校3校で使用できるように、教育委員会では標準化した「生活記録表」を検討作成し導入している。

教育長

子どもたちの家庭生活を改善していくことは必要なことであり、家庭学習の時間確保に取り組むことは大切と考えている。

教育委員会としては町統一の生活記録表を今すぐ作成していくことは考えていないが、各学校の校長や教職員の意見を聴き、他の実践事例などを研究する中で、今後家庭での学習時間の確保や、生活時間の見直しを図る方法について検討していきたい。

ている昭和町はどのような状況なのか。

教育長

昭和町は文部科学省の「英語教育強化地域拠点事業」の指定を受け、平成27年度から研究に取り組んでいて、町独自の教育課程を作成し、小学校1年生から中学校3年生に対して先行的な英語教育を行っている。

Q 昭和町の英語力アップへの取り組み状況は。町独自の先行的な英語教育を進めている。

鷹野

国は訪日外国人が増える2020年東京五輪などを見据えて、英語力アップの達成目標を設定したが伸び悩んでいる。「英語教育強化地域拠点事業」を行う

これまで小学校3校と押原中、甲府昭和高校が連携した英語教育を研究・実践しているほか、全小学校にALTを配置するなどしてきた。成果として、今年度の中学2年生対象の山梨県学力把握調査で英語の成績が、県の平均を大きく上回っていた。

再質問

英語力アップの数値目標は設定するのか。

教育長

数値目標の設定は検討課題だ。小学校では英語嫌いをつくらないことが大切で、評価の数値化そのものに課題がある。

中学校も研究指定地域の昭和町と他地域の比較は難しく、県の学力テストなどにおいて目標を立てている。今後は、新しい学習指導要領を踏まえて、数値目標を設定するか考えていきたい。



ALT教諭

Q 過去5年間の町内の生活保護受給世帯の推移と現状は

A この5年間で倍増している



かねまる とみかず
金丸 富一 議員

金丸

厚生労働省の発表によると、平成26年2月時点で生活保護を受けている人は全国で216万人を超え、そのうち43%を高年齢世帯が占め、働ける年齢層を含む「その他」も17%と聞いている。

不況の影響で仕事を失った人がなかなか次の仕事につけず、生活保護を受ける傾向ではないかというのが、厚生労働省の分析である。生活保護制度は本来に生活に困窮する人を救い、やがて社会に復帰することを目的として最後のセーフティネットでなくてはならない。

本町においても受給者数は例外なく増加傾向にあると思うが、平成28年3月31日現在、約72世帯95人と聞いている。

その中で高齢者のみ世帯・就労可能年齢層の比率や、対象になる児童の有無など、過去5年間の推移および現状について教えてほしい。

町長

生活保護の調査、認定、受給額の決定などは県の業務になるが、平成24年4月の昭和町の生活保護受給世帯は41世帯56人で、今年3月末には78世帯102人となり、この5年間で倍近くに増えている。

世帯構成は単身世帯が8割近くを占め、高齢者だけの世帯は全体の4割、児童がいる世帯は数世帯だ。就労可能と思われる20歳から60歳の年齢層の被保護者数は半数近くになる。

新たに生活保護を受給す

再質問

る世帯のほとんどが単身で生活をしてきたが、身体や精神の病気やケガなどで就労できず、身内の援助も受けられないような方が多いと思われる。

町では今後も県と連携しながら生活困窮者支援に努めていく。

生活保護を受けている人に対する働きかけやケースワーカーの充足率はどの程度か。

また適正需給の確認や就労支援について県との連携はどう進めているのか。

さらに対象の児童について、児童手当など教育支援との兼ね合いはどのようなになっているのか。

福祉課長

県のケースワーカーが生活保護を受けている世帯の状況に合わせて定期的な訪問

を行っている。充足率は県の職員の人員配置によるものだが、足りているとはいえないと思う。

就労支援については、県のケースワーカーが確認し、病気やケガが回復して就労可能となれば、町も県と連携しながらハローワークなど関係機関につなげるなどの支援をしている。

児童手当については、生活保護制度は他の法律が優先なので、児童手当を受給して、国が定めた生活保護費から差し引いた不足額が支給されることになっている。



峡南保健福祉事務所

Q

防災の自助力を高める活動を

A

防災講話の実施など 自助力向上に努める



かわだ あけみ 議員
河田 あけみ

河田

自助は防災・減災の基本だ。町民が自助力を高めれば、命と財産が守られ、被害を最小に抑えられる。

自助力を高めることについて、積極的な広報活動・啓発活動をしてほしい。

町長

今年度は町内12地区で防災講話を実施するなど、地域防災力の強化に努めている。引き続き防災講話など創意工夫を凝らして、町民の一層の自助力向上に努めていく。

再質問

町の備蓄は何食、何日分の用意があるのか。

また指定避難所には何人が収容できるのか。

企画財政課長

山梨県が発表した東海地震は今後30年以内の発生確率が88%で、本町人口の10%が住居制約者になると想定されている。

その人数のおおむね3日分の食糧を備蓄している。指定避難所は最大で5ヶ所開設し、合計2370人、体育館以外の教室を含めるとそれ以上の収容が可能となる。

Q 女性防災リーダー養成講座の開催を

A 他市町村の事例等を調査、研究し検討する

河田

昭和町では有志による「女性防災ネットしようわ」が活動しているが、自発的に活動する女性たちの視点を無駄にしないためにも、防災に対する「女性防災リーダー養成講座」を開催し、女性リーダーの育成を行ってはどうか。

町長

町では地域防災リーダー養成講座に「女性防災ネット昭和」や「子育てボランティアの会」の方など多くの女性にも参加してもらおう中で、防災リーダーの養成に努めている。

引き続き女性ならではの視点を町の防災対策に反映し、強化に努めていく。また他市町村の取り組み事例等を調査、研究し、女性防災リーダー養成講座について検討していく。

再質問

防災講座の休日や夜間の開催も検討すべきではないか。また町の女性職員を防災担当に加えてはどうか。

企画財政課長

講座の開催はより多くの方に参加いただけるよう検討していきたい。女性職員の配置は現在のところは考えていない。

Q ヘルプカードの導入は

A 来年度の導入を検討していく

河田

また外見だけでは識別さ

れにくい支援を必要とする方々が日常生活の中で困った時に支援を求めやすくする「ヘルプカード」の導入の検討を。

町長

町では差別相談の窓口も設けていて、その基幹相談センターでは学習会も開催している。

今後とも障害に対する理解が深まる取り組みを行っていく。またヘルプカードは、来年度に向けて導入する方向で検討したい。

再質問

昭和町の障害者雇用は現状足りているのか。

総務課長

現在、町では障害者を3人雇用し、地方公共団体の法定雇用率の23%には達していないが、人数的には達している。

再質問

環境経済課長

るための素晴らしく、誇らしくもある条例であるが、これからのような施策を展開していくのか。

町長

昭和町環境基本条例は、環境保全の基本理念を定めるとともに、施策の基本的な事項を定めることで町民の健康で快適な生活環境の確保に寄与することを目的としている。

また、環境保全のための施策を、総合的、計画的に推進するための計画を策定しなければならぬことが謳われており、これらの条文に基づいて計画の策定業務を進めているところである。

来年3月策定予定の基本計画に基づき、環境施策の推進にしっかりと取り組んでいきたい。



ほり もんた 堀 門太 議員

堀

近年、「100年に一度の大雨」「ゲリラ豪雨」「観測史上初」などの言葉が日常的に飛び交っているが、これらの異常気象の原因として目されているのが温室効果ガスなどによる自然環境破壊だ。

先進国を中心に温室効果ガス削減を目的としたパリ協定も結ばれるなど、今、地球の自然環境保護は世界における最重要課題の一つである。

そんな中、昭和町においては4月に昭和町環境基本条例が施行された。

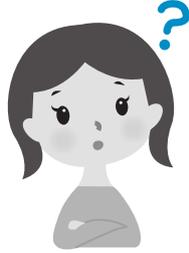
良好な自然環境と健全な社会環境の保全と創造を推進す

Q 昭和町環境基本条例の施策の展開は

A 来年3月策定予定の基本計画に基づき施策を推進していく



追跡



あの要望は どうなった？

町民の質問に、議会と当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

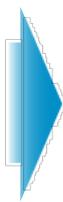
追跡

交差点の一時停止標識等の設置を

平成28年8月、平成29年7月 質問者：紙漉阿原区民

問

「昭和スポーツ広場」から中央市のイツモアに向かう中央市との境の交差点に一時停止標識の設置を



答

平成29年8月、昭和町側のガードレールにイラスト入りの注意喚起看板を設置しました。

追跡

押原公園の北側遊歩道に照明の設置を

平成29年1月 質問者：押越区民

問

公園の北側の遊歩道に照明の増設を



答

7月に照明10基を遊歩道に設置しましたが、暗い所があったので、新たに照明2基の増設が完了します。

山梨学院大学との提携

〔年6回開催〕

《8月～9月》第1回～第3回まで開催

山梨学院大学の教授とともに課題に対して実践的な研修を行いました！

8/18 「総合計画の策定と管理(PDCAサイクル)」
外川教授

8/29 「議会基本条例の見直しについて」
江藤教授

9/1 「議員による調査・研究の進め方(第1回)」
江藤教授・外川教授



よりよい議会広報づくりのために



議会モニターから意見をいただきました!

- 表紙**：・表題をいろんな人書いてもらうのは良いと思う。
・書いた中学生を紹介するのは良い。
- 内容**：・議会で決まったことの注意書きが少しわかりにくかった。
・組合議会報告で、いまいち活動内容がわからなかった。
・文字をもう少し大きくしたほうが良いところがあった。
- 裏表紙**：・とても読みやすい。最優秀賞受賞おめでとうございます。

上記以外にも様々な意見をいただいています。毎号目を通し意見や感想をいただき、試行錯誤しながらよりよい議会広報作りに努めています。
議会モニターの皆様ありがとうございました。

広報編集特別委員会研修視察を行いました!

日時：9月28日(木)～9月29日(金)

場所：東京都砂防会館・埼玉県寄居町役場

研修内容：議会広報に関する講演、及び議会広報クリニック
寄居町議会の議会広報に関する視察研修



広域事務組合議会報告

甲府地区広域行政事務組合議会懇話会 報告

報告議員：塚原 将司・依田 茂巳
(3市1町で構成)

日 時：平成29年8月25日(金)午後4時30分～

予算概要：大規模災害と緊急消防援助隊についての講演

【講師：甲府地区広域行政事務組合消防本部 警防課長 宮下光夫氏】

- ・緊急消防援助隊の概要
- ・過去の大きな地震災害を教訓に今後を考える
- ・東海地震や南海トラフ地震の切迫性
- ・防災の心構え
- ・家庭・地域・職場での災害発生時の行動

中巨摩地区広域事務組合議会 報告

報告議員：遠藤 辰男・金丸 富一
(3市3町で構成)

日 時：平成29年10月5日(木)午前10時～

内 容：議案第13号～議案第23号

一般会計及び特別会計歳入・歳出決算書審査

《全員賛成で可決》

諸 報 告：平成28年度の事業では、ごみ処理事業会計においては、
焼却施設の改良工事が平成27年度で終了したため、
決算額は前年度比較で歳出50.1%減

三郡衛生組合議会 予定

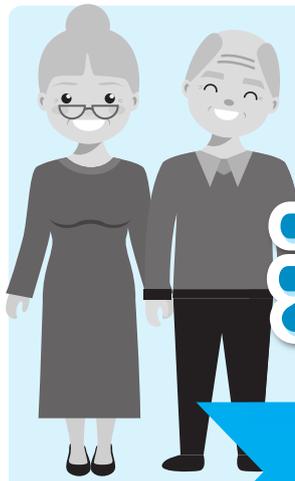
報告議員：石原 高明・石原 一好
議会運営委員会は平成29年11月20日(月)午前10時～開催予定です。(2市3町で構成)

次回は平成29年11月30日(木)午後2時～開催予定です。

山梨県後期高齢者医療広域連合事務組合議会 予定

報告議員：三井 猛
(27市町村で構成)

次回は平成29年10月27日(金)午後2時～開催予定です。



井戸端会議

地区住民と議員との対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

押越区 (第1回)

7月15日 区公会堂

●出席者
区民 28名

●参加議員

○教育厚生常任委員会

石原 一好 林 和仁

樋口 敏夫 河住 保茂

中澤 康夫

塚原 将司 議長

○地元議員

石原 高明

おもな
意見・要望と
議会の対応

Q 昭和町の開発条例
がどこまで進んでいる
か。

A 押原地区の開発に
ついては、県からの権
限委譲を含め、現在都
市計画マスタープラン
の策定中であるので理
解をお願いする。

Q 押原公園内のラン
ニングコースが凸凹で
歩きづらいので補修を
してほしい。

A 昨年も同じ質問が
あったが再度町に確認
する。



押原公園ランニング
コースの補修を!

A(当局) 木製チップ
を固めた舗装は、耐久
性が短く何度か補修し
てきたが均一に摩耗せ
ず凸凹が目立つ状況で
ある。

今年度に長寿命化計
画策定を行い、来年度
に国の補助を要望し、
平成31年度から年次計
画により全面改修をす
る予定。
損傷が激しい箇所は
状況を把握し、対策を
検討する。

築地新居区 (第2回)

7月17日 区公会堂

●出席者
区民 26名

●参加議員

○産業土木常任委員会

葉袋 義久 依田 茂巳

三井 猛 遠藤 辰男

鷹野 一雄

塚原 将司 議長

○地元議員

河田 あけみ 金丸 富一

おもな
意見・要望と
議会の対応

Q イオンモール周辺
の交通渋滞が激しいた
め、子ども・高齢者が
安全に通行できるよう
要望してほしい。

A 町から県への要望
と、県議を通じての要
望を引き続き行う。

Q 地区担当職員制
度について、休止と
なったが制度の検証を
して区民へ報告をして
ほしい。

A 行政と区をつなぐ
制度で一定の成果が見
られたが、区長会や係
長会議でのアンケート

調査をもとに制度の
見直しが必要とのこと
から休止した。
地域への説明などは
必要に応じて行うこと
を考えている。



道路改善を!

紙漕阿原区 (第3回)

7月28日 区公会堂

●出席者

区民 17名

●参加議員

○総務常任委員会

金丸 富一 石原 高明

河田 あけみ 田中 博愛

堀 門太

塚原 将司 議長

○地元議員

石原 一好



通学路の
安全対策を!

おもな 意見・要望と 議会の対応

Q 河川が整備され、ホタルの生息できる環境が少ない。沼公園などホタルが多く生息できる環境を整備する事が必要と思うがどうか。

A 沼公園や町内河川は整備したため、ホタルの生息は少なくなっている。今後ともホタルの餌となるカワニナを守る等、ホタル愛護会と連携し、愛護に努めていく。

A(当局) 都市化が進み、ホタルの飼育が難しくなっているが、杉浦

医院などを活用しながら愛護活動が続けていく。

Q 通学路について踏切付近は大変危険であるため表示等の設置をお願いしたい。

A(当局) 踏切間は町道であるため、町での対応が可能。今後、押小の職員会議と阿原の保護者との話し合いがある中で、意見を聞き対応を図りたい。

飯喰区 (第4回)

9月28日 区公会堂

●出席者

区民 24名

●参加議員

○産業土木常任委員会

葉袋 義久

三井 猛

遠藤 辰男

鷹野 一雄

塚原 将司 議長



安全な仕組み
づくりを!

おもな 意見・要望と 議会の対応

Q 昭和町に流入人口が増える中、小学生などの小さい子どもが地域に増加している。安全対策として危なくない仕組みづくりをどのように考え対応しているか。

A 街頭指導も行って、いるが交差点の事故が多い。そのようなところは、道路標示、カーブミラー等設置して対処している。議会も地域の安全のため、協力していく。

Q イオンモールで行われているパークアンドバスライドについて、バスの運行時間を早朝にする事は可能か。

A 主に甲府駅から客を運んでくることを主力にしていると思うのでどうか。町へ要望する。

A(当局) 町からイオンに運行に関して話し、早朝の増便ができるか検討する。

平成29年度・井戸端会議 スケジュール表

	月 日	曜 日	地 区	時 間	担当委員会
5	10月19日	木	上河東	7:00～	教育厚生
6	10月20日	金	上河東二区	7:30～	総務
7	10月21日	土	西条一区	7:30～	総務
8	11月18日	土	西条二区	7:00～	産業土木
9	11月29日	水	清水新居	6:30～	教育厚生
10	12月15日	金	河西	8:00～	産業土木
11	1月18日	木	河東中島	7:30～	総務
12	1月28日	日	西条新田	8:00～	教育厚生



議員記者が行く



議員記者が行く!のテーマは「町を守る」。町内で活躍する皆様にスポットを当て、活動の姿を追っていきます。今回は南甲府交通安全協会昭和支部を取材しました。



Q 南甲府交通安全協会昭和支部とはどんな組織ですか？



A 略称を安協昭和支部と呼びます。12地区より男性3名・女性1名の交通安全指導員を選出。



交通安全街頭指導開始式



街頭指導の様子①



Q 主な活動は？



A 定例会を毎月第3土曜日の午後1時から中央公民館会議室で開催。国母・押原小井川交番の警察官も参加する中で情報交換。道路の危険箇所の確認・カーブミラーの設置・道路標識の設置などの安全対策に取り組んでいます。また、小学生を対象に自転車教室を開催。交通安全週間には街頭指導を行っています。



Q 現状の課題と今後の抱負を



A 道路事情が変化し交通量が増大。渋滞を避けようと裏道を通行する車両が増え小さな交差点での事故が多発。交差点の安全対策が必要。交通事故が1件でも減らせるよう活動していきたい。



街頭指導の様子②



笹本支部長へのインタビュー

支部長からひとこと

昭和町は本年9月16日で死亡事故ゼロ1,000日達成し、山梨県より表彰。今後は2,000日を目指し、安協役員一丸となり活動していきます。町民のみなさまには危険箇所等ありましたら各地区の安協役員にお声がけください。みなさんと力を合わせ交通事故のない平和な昭和町にしていきたい。

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

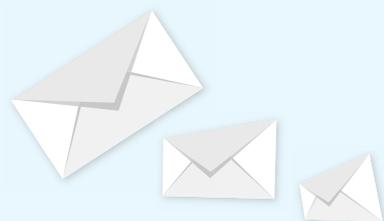
 空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- ① 町のために〇〇ができること
- ② 平成28年度決算 財政力指数〇.〇〇%!!
- ③ 井戸端会議 7月~9月 開催区は〇箇所!



ヒント

議会だより
175号(この号)を
読んでください



No.174に対する
前回のお葉書で

こんなご感想を いただきました!



みなさんの感想を 大募集!!

クイズに正解すると 図書カードを 差し上げます!



粗大ゴミの収集場所について
総合体育館になってから4年が
たって、町民にもなれてきた感じが
あります。地区の収集場所に集め
たときは、明らかに他町民と思わ
れる方がおいていたり、逆に金
属だけ選んで持っていく人がいた
りして、気持ちのいいものではあり
ませんでした。これ以上いい方法
はありません。従事するかは大
変でしょうけど、身分証の提示も
含め、町民税を使って処分するこ
とを念頭に置いて今のやり方が一
番いいと思います。

(58歳・女性)



【応募方法】

- ①クイズの答え
 - ②住所
 - ③氏名(ふりがな)
 - ④年齢
 - ⑤議会だよりを読んだ感想
- を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送
りください。議会への要望・意見等もありました
ら、お受けいたします。

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX:055-275-0370
- メール:gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp
《しめきり》 11月末日消印有効



住みやすい街



上河東区
杉原 喜彦さん

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む皆様にご意見・ご感想を伺いました。



昭和町に28歳で新居を構え、夫婦と長男で引越してきました。周りには田んぼが多く静かな田園風景が広がっていました。来た当初は何もわからず、仕事・子育てに忙しい毎日を過ごしていましたが、地域の行事で一番驚いたことは、小正月に各家庭を回り獅子舞を行っていた事でした。現在も地区の伝統を守り若者中心に活動をしています。長老の方からはこの会は絶対に無くしてはいけない、将来は若い人が中心に上河東区を背負っていくので、会の存在を大切にしよう指導を受けたのを今でも覚えていています。区の役員も受けさせて頂きましたが、様々な意見等頂きながら遂行することが出来ました。諸先輩方のご指導によるものと感謝しております。現在は民生・児童委員4年目を迎えます。民生・児童委員創設100周年の記念の年で、重要な役割を改めて認識し活動しています。今後も人口増加、高齢者増加に伴った様々な案があると思いますが、長年お世話になった地域に少しでも恩返しできる様、微力ではありますが日々奮闘しています。昭和町に移住して35年、周りからも注目されるとても住みやすい町を実感しています。

子育てしやすい町



西条一区
松本 由佳さん

結婚する一年前に主人は転勤で山梨へ引越して来ました。住む所を探している時知人から昭和町が良いと聞き住み、それから一年後結婚し私も住み始め十六年になります。当時より街並みは、大型ショッピングセンターや医療機関が増え便利で生活しやすい町になりました。土地勘のない町、知り合いも居ない中、妊娠、出産と初めての経験で不安な日々ばかりでした。町で行なっている定期検診で知り合ったママと友達になり、そこから人との繋がりが広がり、子育てサークルにも入って同じ年齢の子供同士で遊んだり悩みの相談、些細なことでもすぐに解決し、三人の子供に恵まれ子育て中悩むことなく過してきました。現在は子供が学校に通い、私も仕事をしてます。西条小学校はほたる子ルームがあり、一人で留守番することなく二人で帰宅するので安心してます。また、習い事の送迎をファミリーサポートさんの協力をいたたく中で、部活や塾、受験の話も聞け第二の母の様な感じで非常に参考になりました。沢山の方と出会い、支えて頂きながら子育てが出来、とても幸せに感じています。これも充実した子育てで支援がある町、昭和町だからこぞだと思います。

議会だよりはこうして作っています。

議会だより175号編集作業の様子です。編集委員、事務局、業者でよりよい広報をつくるため頑張っています。今後ともよろしくお願い致します。



- 広報編集特別委員会
- 委員長 石原 高明
- 副委員長 堀 門太
- 委員 林 和仁
- 金丸 富一
- 石原 一好
- 依田 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回例会は12月9日(火) 開催予定です

議会事務局 ☎27-5-8842

